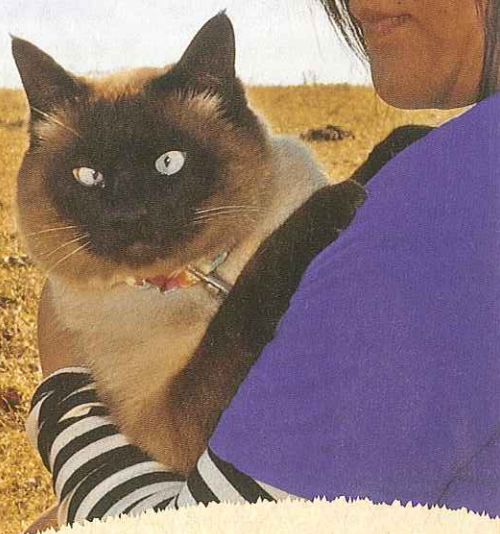


ふたたび、
いのちをめぐる
旅が始まる。



犬と猫と人間と2

動物たちの大震災

監督・撮影・ナレーション: 岡戸大裕 構成・編集・プロデュース: 飯田基晴 音楽: 末森樹 整音: 米山靖 宣伝写真: 浅岡恵 宣伝イラスト: うさ
宣伝デザイン: 成瀬慧 製作: 映像グループ ローポジション 配給: 東風 2013年/104分/HD/16:9/ドキュメンタリー
www.inunekonigen2.com

忘れたくない命、生かしたい命。これからをともに生きていく、人と動物のものがたり。

いのちは儂い。心はもろい。けれど、たくましい。
この作品が暗闇に射す一筋の光となり、
次の世代への道しるべとなってくれますように。

渡辺眞子(作家/「捨て犬を救う街」)

『犬と猫と人間と』から4年。 ふたたび、いのちをめぐる旅が始まります。

東日本大震災では多くの人々、犬や猫などの動物たちが被災しました。しかし被災した動物の数は自治体でも把握しきれていません。今なお保護活動が行われていますが、私たちにはその現状を知ることさえ難しいのです。

「まだ新しい犬は飼えないけど、いつかまた…」津波で愛犬を失った夫婦が、喪失を受け止めてゆく長い道のりに寄り添いました。津波を生き延びた男性と野良猫が再会し、次第に家族となっていく姿など、いくつもの別れと出会いを見つめます。原発事故に翻弄される福島では、取り残された犬や猫を待っていた苦難が今も続き、飼主やボランティアの人々の複雑な思いが交錯します。

残されたのは犬や猫だけではなく。被ばくした牛たちを生かすべきか否か、畜産農家とボランティアの人々が立場を越えて困難に立ち向かう姿を通して、いのちの意味を問うていきます。

僕らがまだ知らない、動物と人間のいま 未来につなぐため、いのちと向き合う

監督は、宮城県出身の映像作家・菅野大裕。変わり果てたふるさとに戸惑い、カメラを向けることが出来ずにいた監督。しかし、懸命に生きる動物たちと彼らを救おうと奮闘する人々と出会い、600日に渡り正面からいのちと向き合っていきます。

プロデュースを手掛けたのは、一人の猫好きのおばあさんの「不幸な犬猫を減らしたい」という思いから生まれ、09年に劇場公開され話題となった『犬と猫と人間と』の飯田基晴。本作はスクリーンを見つめる私たち自身がともに生きるいのちについて考え、未来へと繋いでいくための物語なのです。



『犬と猫と人間と2』応援団募集中! チラシ配布・ポスター掲示など協力いただける方を募集しています!
詳しくは東風までお問合せください。TEL:03-5919-1542 FAX:03-5919-1543 MAIL:info@inunekoningen.com

www.inunekoningen2.com

5月“いのち”をめぐるロードショー

劇場特別鑑賞券¥1,400(税込)発売中

当日一般¥1,700 | 大学・専門学校生¥1,400 | シニア・会員¥1,200 | 高校生¥800 | 中学生¥500

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

03-3461-0211
www.eurospace.co.jp

